

# 地本業務ニュース

JR 東海労・静岡地方本部

NO.13 2015年 4月20日

発行者：JR 東海労静岡地方本部 山本繁明

## 平成27年度静岡支社経営協議会開催

**313系以外の他形式車両にも徐行  
ガイダンス・モニターを導入せよ！**

**自己の時間でやらせている規程  
改正作業は超勤対応とせよ！！**

静岡地本は4月13日、平成27年度事業運営の基本方針・静岡支社重点実施項目について経営協議会を開催しました。まず、支社より基本方針と重点実施項目について説明があり、地本は「質の高い親和感のあるサービス」とは具体的にはどういうイメージなのかを質問し、会社は「パーフェクトクルー・パーフェクトスタッフをリアルバリューサービス運動へと進化させ、より安心感、親しみやすさ、気配り、心配りのできるサービスを目指す」と説明しました。組合は、社員にこれまで以上のことを求めるなら、より働きやすい環境を整えるべきであると、4項目について主張しましたが、会社側の前向きな回答は無いまま議論を終了しました。

以下、平成27年度事業運営の基本方針・静岡支社重点実施内容の主項目と、地本主張の4項目です。

## 平成27年度事業運営の基本方針・静岡支社重点実施内容

『すべては安全のもとに』～安全・安定的で親和感のある輸送サービスの提供～

1. 安全・安定輸送確保に向けた着実な取り組み
2. 質の高い親和感のあるお客様サービスの追求
3. 将来を見据えた業務遂行体制の構築に向けた取り組み
4. 鉄道のプロとしての意識の醸成と明るく活力のある職場づくりの推進

### 組合側主張

1. 工事徐行に対する速度厳守するよう乗務員も努力している。徐行速度制限に対する313系車両のガイダンス「まもなく徐行です」モニター表示は、たいへん有効である。他形式車両においても同様の乗務員支援をすること。
2. 乗務員各自による規程改正の作業は、管理者から確認を求められるが、準備報告時間内ではやりきれない。自己の時間での作業を、超勤対応すること。
3. 今年ダイ改では、早期に乗務行路表が提案され組み替えも行われた。今後もこのような姿勢で取り組むこと。
4. 年休について、とりわけ年度末は学校行事や家庭行事などがあり要望が多い。年度末でも年休抑制されないよう計画的な特休付与、年休対応をすること。

以上